

環境設定

環境を設定する

THUMGY Dataの使用環境を設定します。以下の設定が行えます。

- コマンドを実行する都度、ログをスクリプトに書き出す画面を表示するかどうか
- テーブルの表示エリアで1画面に表示するレコードの行数の設定（1,000行～10,000行）

◇環境設定の設定内容を確認・変更する

- ①プロジェクトを開きます。
- ②ツールバーの《設定》をクリックし、《環境設定》をクリックします。
- ③各タブの設定内容を確認し、必要に応じて、変更します。

- 「ログスクリプト」タブ

「コマンドを実行する都度、ログからスクリプトへ書き出す画面を表示する。」にチェックマークがついている場合は、画面を表示する機能が有効です。

機能については、[機能説明書「ログのスクリプト書き出し」](#)を参照してください。

- 「テーブル」タブ

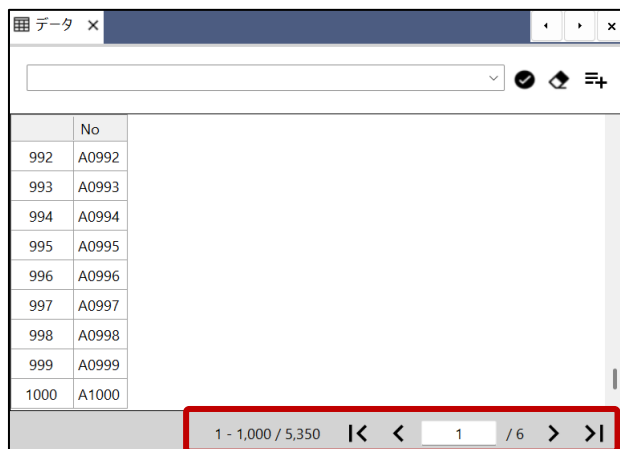
「「テーブル表示エリア」で表示させるレコード数（行数）を設定します。」の左側の欄に、レコード行数を半角の数字で入力します。

初期値は「1000」になっています。1000～10000の間で設定が可能です。

- ④設定を変更した場合は、《実行》をクリックし、変更内容を保存します。

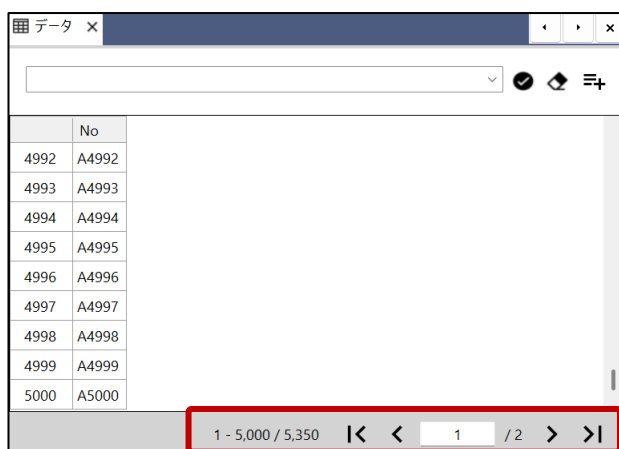
変更内容は、別のプロジェクトに切り替えても引き継がれます。

表示させるレコード数（行数）を変更した場合は、開いているテーブルを閉じて、開きなおすと反映されます。



No	
992	A0992
993	A0993
994	A0994
995	A0995
996	A0996
997	A0997
998	A0998
999	A0999
1000	A1000

「1000」と設定した場合は、1画面に1000行まで表示されます。



No	
4992	A4992
4993	A4993
4994	A4994
4995	A4995
4996	A4996
4997	A4997
4998	A4998
4999	A4999
5000	A5000

「5000」と設定した場合は、1画面に5000行まで表示されます。